

「日本でいちばん大切にしたい会社」で大賞」で審査委員会特別賞

エネルギー業界で初の受賞

アポロガス（福島市飯坂町、篠木雄司社長）は「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」で審査委員会特別賞を受賞し、3月21日、東京・千代田区の法政大学市ヶ谷キャンパスで表彰式が開かれた。

エネルギー業界では過去も含めて初の受賞となった。

この表彰制度は、人を大切にす
る経営学会、「日本でいちばん大
切にしたい会社」大賞実行委員会
が主催するもので、今回で7回目

を迎える。経済産業大臣賞のT
Oをはじめ、多くの会社・団体
からアポロガスを含む17事業者が
選ばれた。

同社の受賞理由は①福島第一原
発事故後、住民が1人でも残って
いる限り、地域のライフラインを
守るために事業を継続した経営姿
勢②社員を主役に、自分たちで考
えて実践する人財育成③難病の子
どもたちへの慰問、養護学校への
サンタクロース訪問など、社会的

に、自社の記事を掲載した地方新
聞に「40年前の恩返し」として全
面広告を掲載するなど、恩義を忘
れない——など。

式典では、清成忠男実行委員長
（元法政大学総長）が「人を大事
にする会社は、最終的には社会に
貢献する。今後は地域生活から工
場、町へとIoTがつかなく時代に
なり、働き方も変わってくる。も
う一度人を大事にすることを考え
直す時代になると思う。これまで
北海道から沖縄まで700人を超
える参加申し込みがあり、支援し
ていく」とあいさつした。

員の子どもの数が多い（2人以上、
3・5人）②業績が高く、雇用を
拡大し納税責任を果たしてい
る——という特長を明かした。

「会社は社会的公器として、取
引先や仕入れ先などを重んじ、障
害者も大事にする企業は社会貢
献度も高い。2016年7月から12
月までに応募基準をクリアした85
社を審査した。審査員は手弁当で、
数値化されないと現場調査
ヒアリングで対応してきた」と述
べ、受賞した17社をたたえた。

来賓を代表して、厚生労働省の
堀内詔子政務官が「人を大切にす
る企業が広く紹介されて加速化さ
れることに期待し、今後の協力を
尽力を願う」、中小企業庁の木村
陽一次長が「働き方改革がいわれ
る今、7年前から、人を大切にす
る経営学会」の事業が先取りして
きた。労働の改善、活性化は極め
て自然な流れ」とあいさつした。

特別記念講演では「私を生きたる」と題して安倍昭恵首相夫人が講演した。



受賞した篠木社長



安倍昭恵氏が記念講演

坂本光司審査委員
長（法政大学大
学院教授）は「受
賞会社は17社と過
去最多となった。
人をとことん大切
にする会社を増や
したい」とし、審
査した会社は①社

弱者への社会
貢献レベルが
高い④40年前